

平成 20 年度 第 2 回 海岸工学委員会 議事録

日 時：平成 20 年 11 月 12 日 18:00～20:00

場 所：富山国際会議場 特別会議室

出席者：水口相談役、磯部委員長、佐藤幹事長

青木、荒木、池谷、伊藤、今村、宇都宮、大平、大山、小野、黒岩、黒木(代:柴木)

五明、坂井、柴山、清野、武若、丹治、野田(代:泊)、畑田、半沢、間瀬、水谷(法)、

村上、山本、横木、渡部の各委員

岡安、木村、栗山、後藤、榊山、重松、清水(代:関本)、諏訪、中山、灘岡、橋本、

日比野、由比の各委員兼幹事、田中幹事

議 事：

1. 前回議事録の確認

2. 委員等の交替、報告事項

・委員の交替の報告（佐藤幹事長）

・ICCE に関する報告：今年の ICCE の登録者は全体で 900 人。次回は上海で 2010 年 6 月 30 日から開催（水口相談役）

3. 海岸工学講演会の実施状況（由比委員）

・昨日（11/11）の見学会とシンポジウムと、本日（11/12）の講演会の開催状況の報告。

4. 海岸工学論文集について

・今年度は論文集印刷費がかなり節約できた。印刷費の余剰分は、著者負担金の減額と CEJ の経費に充てたい（佐藤幹事長） 了承

・今回の応募数は 389 編。第 1 段査読で 305 編、第 2 段査読で 297 編となり、最終的には 294 編（間瀬委員）

5. 海岸工学論文賞について（間瀬委員）

・今回は、査読点の高い 15 編を一次選定し、さらに 5 名の審査員により 3 編を選定し論文賞に推薦する 了承

・来年度からは、査読点（90 点満点）の高い論文を 5～8 編を目安に一次選定し、さらに 5 名の審査員による 100 点満点の評点を加えることで論文賞を選定する。

6. 編集小委員長の交代（磯部委員長）

・間瀬委員 青木委員

7. 査読について（佐藤幹事長）

・来年度からは査読評点の平均値を目安として示すことを提案したい。なお、今年の平均評点は、第 1 段査読で 3.5 点、第 2 段査読で 14 点程度である。

8. 論文集の出版形態について（佐藤幹事長、間瀬委員）

- ・ 2年後（平成 22 年度）に、J-Stage を利用して論文集の完全電子化を図る方向で考えている（印刷物は廃止）。来年度は移行期間として、現行同様の論文集の発行と併せて J-Stage へも登録する。
- ・ 来年度は、J-Stage に登録する電子ファイル（PDF）は著者が作成したものを利用することを検討中。再来年以降に本格的に電子化したとき、論文集の品質をどのように確保するかについては要検討。

9. 土木学会論文集の再編について（佐藤幹事長）

- ・ 現在、各委員会が発行している論文集（海工論文集も）は格上げされ、平成 22 年度から土木学会論文集に統一、再編される予定である。
- ・ 土木学会全体として英文論文集を出版することが検討されている。海岸工学委員会としては、すでに CEJ と JHHE があるので、新たな英文 Journal は必要ないと考えている。

10. 第 56 回海岸工学講演会について（横木委員）

- ・ 次年度の講演会は、水戸市で開催予定。
- ・ 茨城県立県民文化センターにおいて 2009 年 11 月 18～20 日の開催を予定しているが、この会場がやや狭いため、他の会場での開催についても検討を行う。場合によっては、開催日が変わる可能性もある。

11. 第 57 回海岸工学講演会について（後藤委員）

- ・ 第 57 回海講は、2010 年 11 月 10～12 日、京都市で開催予定。

12. CEJ (Coastal Engineering Journal) について（柴山委員、佐藤幹事長）

- ・ 最近の CEJ への投稿状況はこれまでとあまり変わっていない。
- ・ 来年 3 月号から新カテゴリとして“テクニカルノート”を設ける。
- ・ 購読状況もあまり変わっておらず、購読数を増やす必要がある。

13. CEJ 賞について（水谷委員、佐藤幹事長）

- ・ 委員には事前にメールにて連絡済みであるが、2007 年の CEJ Award は厳正に選考され、本日表彰を行った。
- ・ JAMSTEC 中西賞の賞金は来年度から CEJ 賞に充てる方向である。そのため、CEJ 賞の選考を 3 月に実施してもらう。

14. 研究小委員会報告

- ・ 沿岸域研究連携推進：昨日のシンポジウムでの講演にあったように、ライフセービング関係者と沿岸域の安全について検討している。また、沿環連（沿岸環境関連学会連絡協議会）の活動にも加わっている（青木委員）
- ・ 津波被害推定ならびに軽減技術：7つのワーキンググループで活動中であり、2009 年 6 月

- に成果を取りまとめる予定。また、津波防災への啓発本を発行する計画である（今村委員）。
- ・ 広報：水工学に関する夏期研修会講義集を、土木学会図書館を通じてインターネット上で公開する方向で検討中。海岸工学データベースについては作業中である（武若委員）。
 - ・ 地球温暖化対策特別委員会：温暖化関係の3小委員会（温暖化影響・緩和対策。適応策）の報告書を、来年3月を目途にまとめる予定。成果の要約版として英文・和文リーフレットを多数作成し、広く情報発信していく（横木委員）。
 - ・ 数値波動水槽研究小委員会：3つのワーキンググループ（自由表面流モデル，漂砂力学，構造物設計）に分かれてレビュー活動中。2009年4月を目標に報告書（第1次案）を準備する予定（後藤委員）。

15. 第46回夏期研修会について（今村委員）

- ・ 2009年度は福島県郡山市の日大工学部で開催予定。

16. その他

- ・ APAC および Coastal Dynamics 2009 についての報告があった。
- ・ エスチュアリーモデリングに関するセミナーに関する報告があった。

（記録：山本）